

九州派

われわれは、いま、美術運動のスタートに立ったと言って良いであろう。

われわれは、われわれの美術運動に「九州派」という呼称をつけたが、それは、われわれの制作の場を、単に地域的に説明したものに過ぎない。

われわれの、もつとも基本的な態度は、あらゆる 既成の観念を排して、最大限に、美術の可能性を探究することである。現代の科学、社会から、民族性、個の問題まで、方法論的にも、レアリズム、アブストラクト、アン・フォルメールなど、われわれが、美術を通じて対決しなければならない問題は、われわれの周囲に山積している。

われわれ九州派が志向するものは、これらの問題と取り組み、解決をはかりながら、真にユニークな、われわれの美術を創造することである。